

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力

園長室だより



城南学園幼稚園 園長 太田友子 平成28年12月8日

今年はどうな一年でしたか？

早いもので師走を迎えました。今年一年はどんな年でしたか？ 年少組の皆さんは、なんと言っても幼稚園デビューでした。4月の頃、不安顔がいっぱいありましたが、今では我が物顔で、幼稚園児にすっかりなりきりました。年中組の子どもたちは、学習遊びも始まり、いよいよ『一人でがんばる』『友だちとがんばる』



場面がたくさんでてきました。個人差がある中で、どの子どもも刺激しあって成長してくれているのが何より嬉しいです。幼稚園のよ

さ、それはいろいろな友だちや大人(先生たち)がいることです。存分に触れ合ってほしいと願います。そして、年長組の子どもたち、運動会もさることながら作品展で見せてくれた『根気強さ』『ダイナミックさ』は圧巻でした。自分の設計図に沿って、根気強くつくり込む姿に大きな成長を感じることができました。出来上がりを気にすることなく、ダイナミックに伸びやかに創造力と想像力を存分に発揮した作品、大人が真似ることができない、この時期ならではの作品ばかりでした。鑑賞された保護者の皆さまが、他の子の作品や他の学年の作品もいねいに鑑賞されていた姿が印象的でした。心から「子どもってすばらしい！」と感動させてもらいましたね。年長組になると自分を振り返って、苦心したこと、成功したことなどを意識して話すことができます。



このように子ども自身が自分の行為等について自覚する力を『メタ認知』といい、『21世紀型能力』として重視されています。本園では、年少組から意図的・計画的に育てているところです。

年末年始は「磨く」チャンス！です。

子育ての理想は、家庭で「しつけ」、学校で「鍛え」、地域で「磨く」関係だと言われます。とかく、核家族になりがちな昨今ですから、年末年始の出会いは貴重な場となります。親、きょうだい以外で、一緒に住んでいない、おじいちゃん、おばあちゃん、おじさん、おばさん、いとこなどなど、子どもたちには大切な存在です。



我が家の孫たちは幸い、おじいちゃん、おばあちゃんがそれぞれ二人ずつ健在しています。「やさいのばあば」「おおきいじいちゃん」など、上手にニックネームをつけて、それぞれに甘えて可愛がってもらっています。孫たちの話を聞くと、娘なりにお義父さん、お義母さんとうまくおつきあいさせてもらっているようです。そうは言っても、結婚当初はとまどって何かとぼやいていましたが、ひたすら聞き流すことに徹しました。今では、こちらが羨ましく思うほど仲良くしてもらっています。本当にありがたいことだと思います。



よくよく考えると、大人の良好な人間関係は、子どもたちにとって何より幸せなことです。子どもたちは、敏感ですから、大人は意識する必要がありますね。

でも、違った見方をすると、子どもの存在のおかげで、大人同士がほどよい『距離』を保ち、仲良きさせてもらっているとも言えるのではないのでしょうか。

今年も残すところあとわずかとなりました。

この一年、保護者の皆さまをはじめ、多くの方々からご理解とご協力をいただきました。心から感謝を申しあげます。ありがとうございました。

来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

よい年をお迎えください。

